

宿泊旅行

40代は「東京」から「四国」「九州」へ。

50代以上は「中四国」「九州」から「東京」「京都市」「大阪市」へ。

オセラ世代の宿泊旅行についてWebアンケートを実施した。

2006年度調査より頻度は上昇し、54.3%が「年に2～3回以上」宿泊を伴う旅行に出掛けていると回答した。「年に4～5回以上」という高頻度層は5.1ポイント増で、16.2%に上った。

旅の目的は、「観光」「温泉」「食事」「観劇・コンサート・美術館博物館鑑賞」が前回に続き上位を堅持し、中でも「食事」の伸びが目立つ。

行先は地元「中国」が32.3%でトップ、次いで「四国」25.8%が続く。居住地近郊以外の行先については分散傾向であるが、「大阪市」「九州」「東京」など大都市を含むエリアのポイントが若干高い。移動手段は中国・四国周遊に便利な「自家用車」が45.6%と最も多く、中でも男性や40代の利用が多い。

旅の情報収集先として最も利用しているのが「PCでのインターネット」74.2%で、「携帯電話でのインターネット」を加えると「インターネット」利用率は91.6%に上る。しかし、「携帯電話でのインターネット」は年代差が大きく、50代以上では利用率が僅か2.9%。また、男女別にみると、女性のほうが情報収集にやや積極的で、特に「友人や家族などの意見」「個人のサイトやブログ」などの「口コミ」は男性のポイントを大きく上回った。

- 調査目的 岡山の大人の意識や行動を知る
- 調査方法 インターネット調査
- 調査期間 2008年2月29日～3月6日
- 調査対象者 岡山県在住の40歳以上の男女
- 回答者 155人
- 調査機関 岡山情報文化研究所

回答者のプロフィール

【年齢】

上段:度 下段:%	合計	40代	50代	60代 以上
全体	155	120	26	9
	100.0	77.4	16.8	5.8
男性	74	53	13	8
	100.0	71.6	17.6	10.8
女性	81	67	13	1
	100.0	82.7	16.0	1.2

【居住地】

上段:度 下段:%	合計	岡山市	倉敷市	その他 県内
全体	155	72	36	47
	100.0	46.5	23.2	30.3
男性	74	37	16	21
	100.0	50.0	21.6	28.4
女性	81	35	20	26
	100.0	43.2	24.7	32.1

【家族構成】

上段:度 下段:%	合計	ひとり	夫婦 のみ	自分(配 偶者含 む)と子	親と自分 (配偶者 含む)と子	親と自分 (兄弟姉 妹含む)	祖父母と 親と自分 (兄弟姉 妹含む)	その他
全体	155	11	26	76	24	10	1	7
	100.0	7.1	16.8	49.0	15.5	6.5	0.6	4.5
男性	74	8	12	35	13	3	-	3
	100.1	10.8	16.2	47.3	17.6	4.1	-	4.1
女性	81	3	14	41	11	7	1	4
	100.0	3.7	17.3	50.6	13.6	8.6	1.2	4.9

頻度

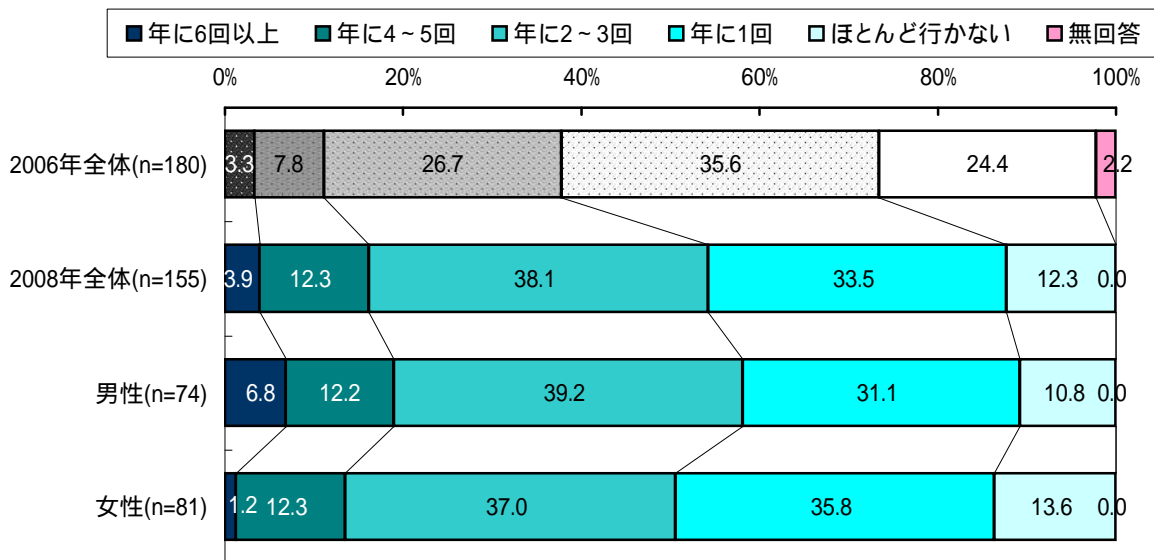
前回調査より頻度が上昇、 54.3%は「年に2～3回以上」宿泊旅行へ出掛けている。

オセラ世代がプライベートで泊りがけの旅行に行く頻度は「年に2～3回」が最も多く、38.1%を占めた。高頻度層を含めた「年に2～3回以上」の旅行者は全体の54.3%に上り、前回調査から16.5ポイント増加した。また、「ほとんど行かない」と回答した人が12.1ポイント減少し、宿泊旅行の裾野が広がっている様子もうかがえる。

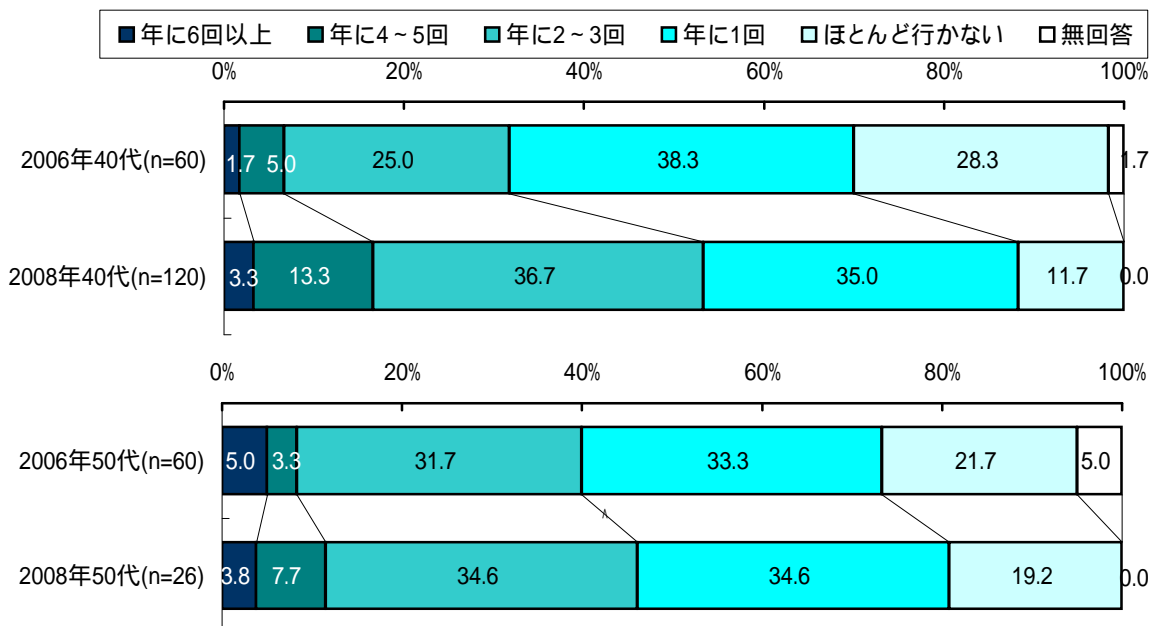
男女別でみると目立った差はないが、若干男性のほうが頻度が高い。

年代別に前回調査結果と比較したところ、40代は「年に2～3回」が11.7ポイント増加、「年に4～5回」が8.3ポイント増加するなど、「年に1回以上」の宿泊旅行者は18.3ポイント増。50代は「年に2～3回」「年に4～5回」が微増し、「年に1回以上」の宿泊旅行者は7.5ポイント増となっている。50代よりも40代の伸び率が高い。

プライベートでの宿泊旅行の頻度(単一回答)



前回調査からの変化【年代別】



目的

旅の目的は「観光」と「温泉」と「食事」。

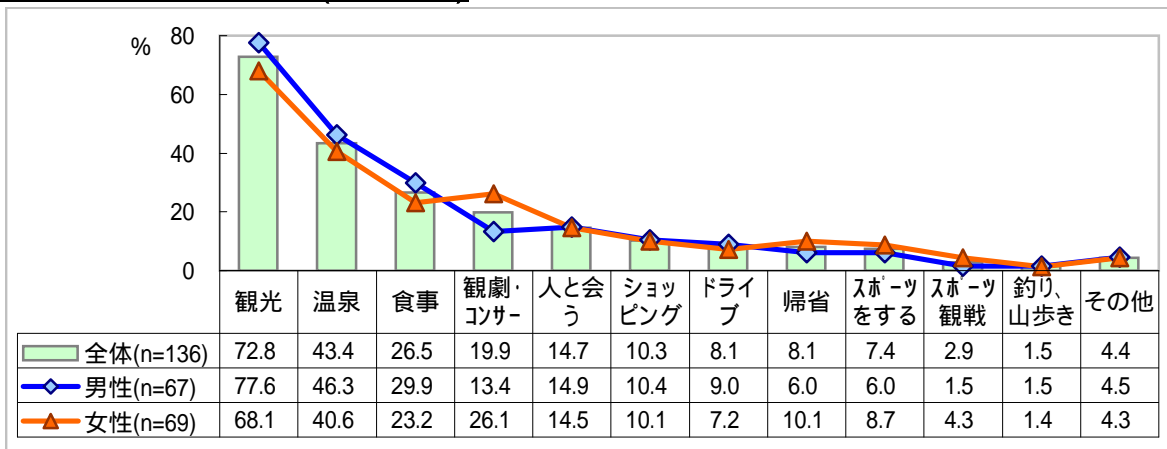
宿泊旅行の目的を複数回答してもらった。第1位は「観光」72.8%で、第2位の「温泉」43.4%を大きく引き離している。第3位は「食事」26.5%、第4位は「観劇・コンサート・美術館博物館鑑賞」19.9%。

男女別で見ると、やや違いが見られ、男性の第3位「食事」第4位「人と会う」に対して、女性の第3位は「観劇・コンサート・美術館博物館鑑賞」、第4位は「食事」という結果となっている。

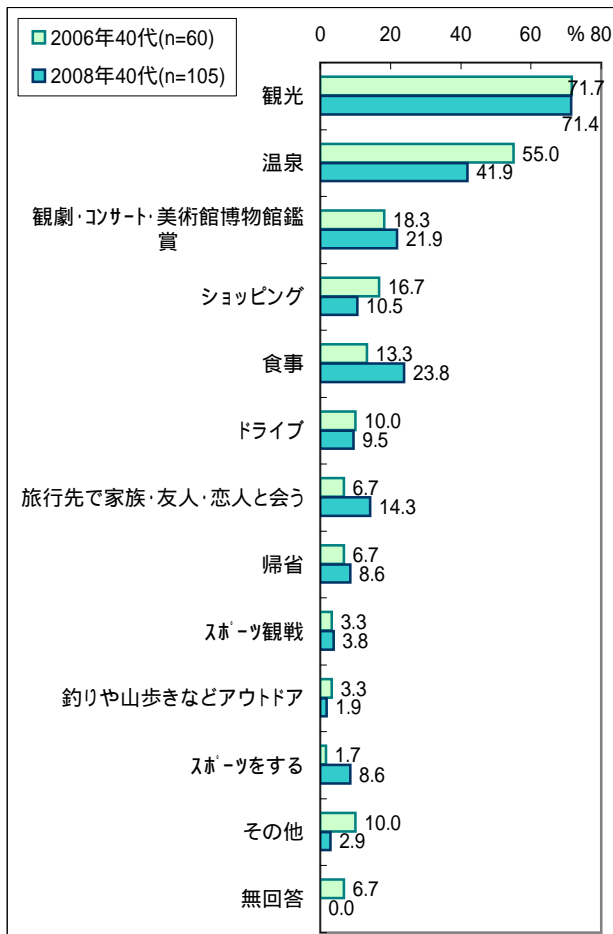
前回調査結果と比較してみると、40代50代共に「食事」の伸びが目立つ。40代では「温泉」の落ち込みが目立った。

プライベートでの宿泊旅行の目的(複数回答)

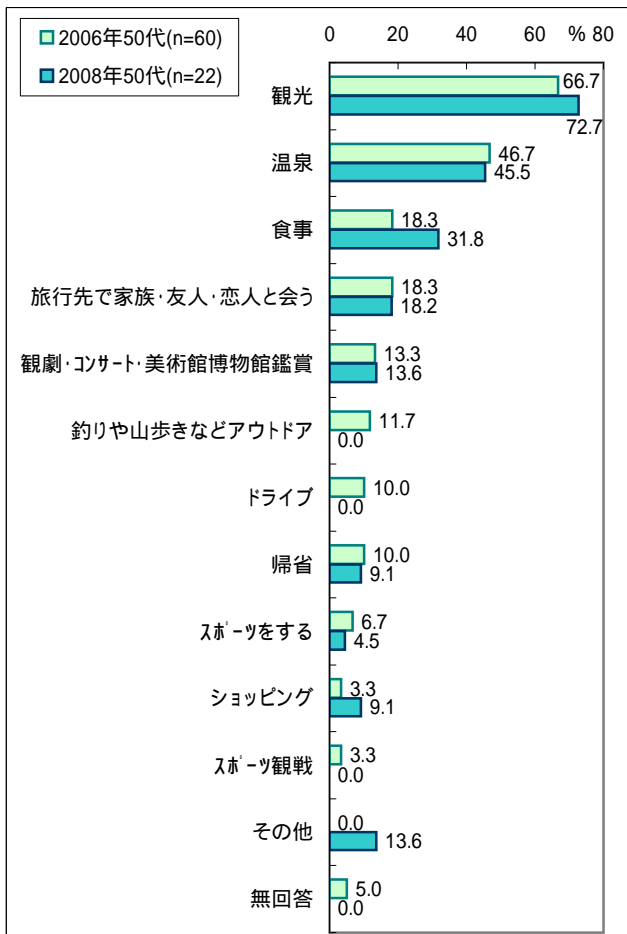
「行っていない」人を除く



40代の変化



50代の変化



行先

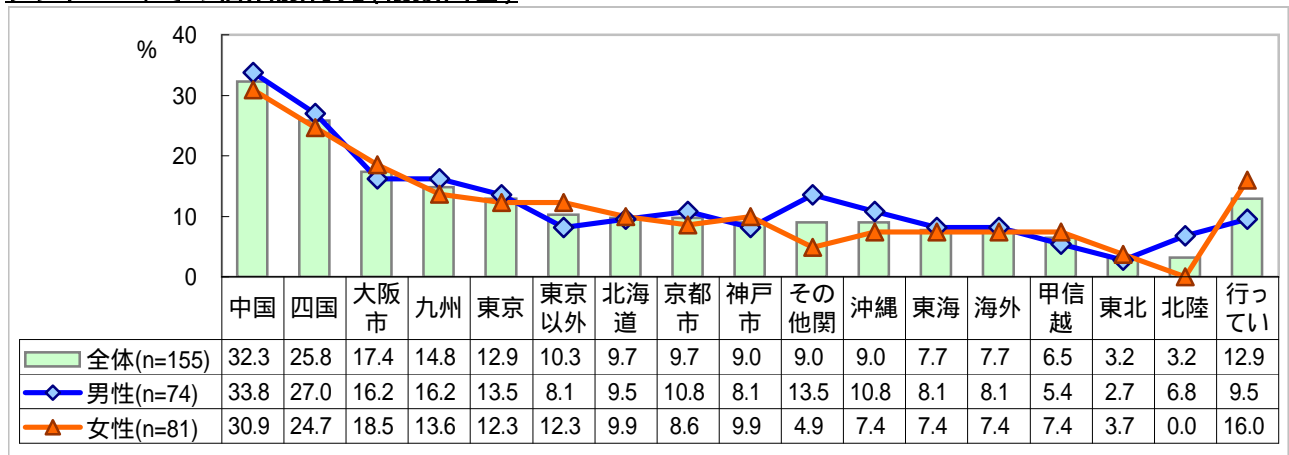
行先ベスト5「中国」「四国」「大阪市」「九州」「東京」。

オセラ世代の宿泊旅行先は地元「中国」が32.3%でトップ、次いで「四国」25.8%が続く。居住地近郊以外の行先については分散傾向であるが、大都市を含むエリアのポイントが若干高い。

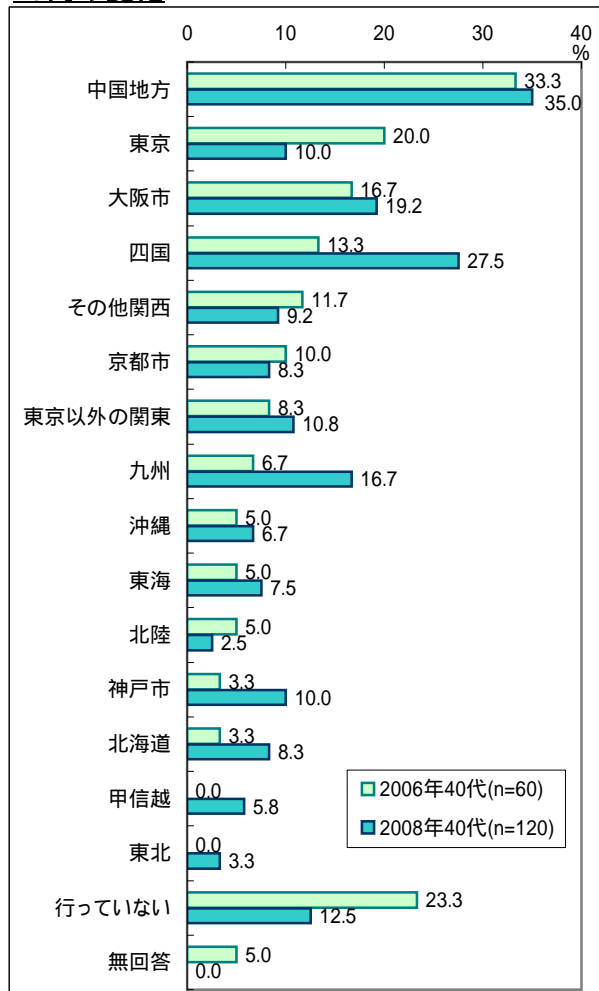
男女間で差が表れたのは、「その他関西」で、男性のポイントが高い。

年代別で前回調査結果と比較してみると、40代では「四国」「九州」の伸びと、「東京」の落ち込みが目立つ。50代では「大阪市」「京都市」など西日本大都市の伸びと、「九州」「東京以外の関東」の落ち込みが目立った。

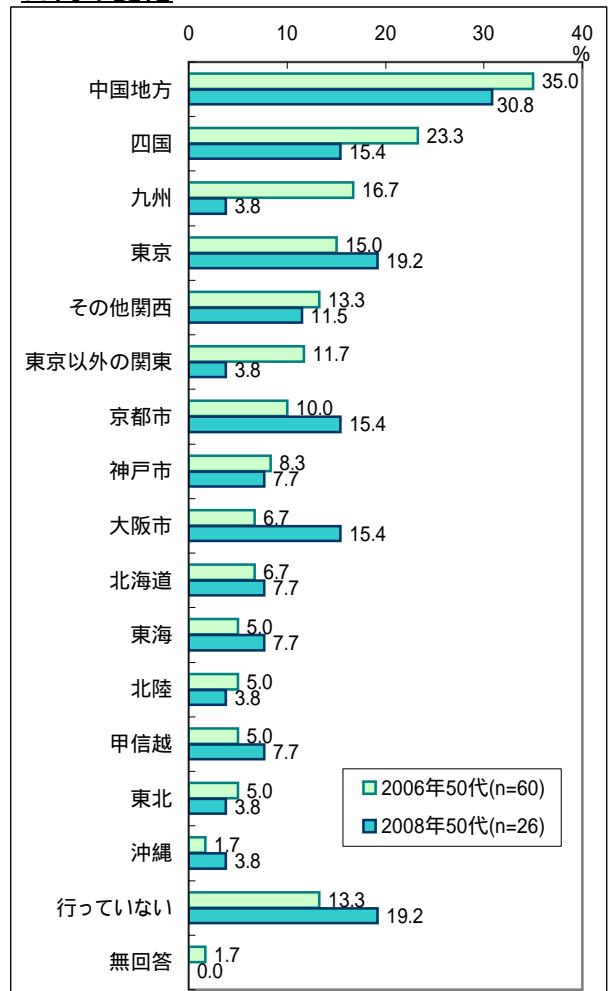
プライベートでの宿泊旅行先(複数回答)



40代の変化



50代の変化



同行者

同行者は「配偶者」や「子供」が減少傾向、「親や兄弟姉妹」が増加中。

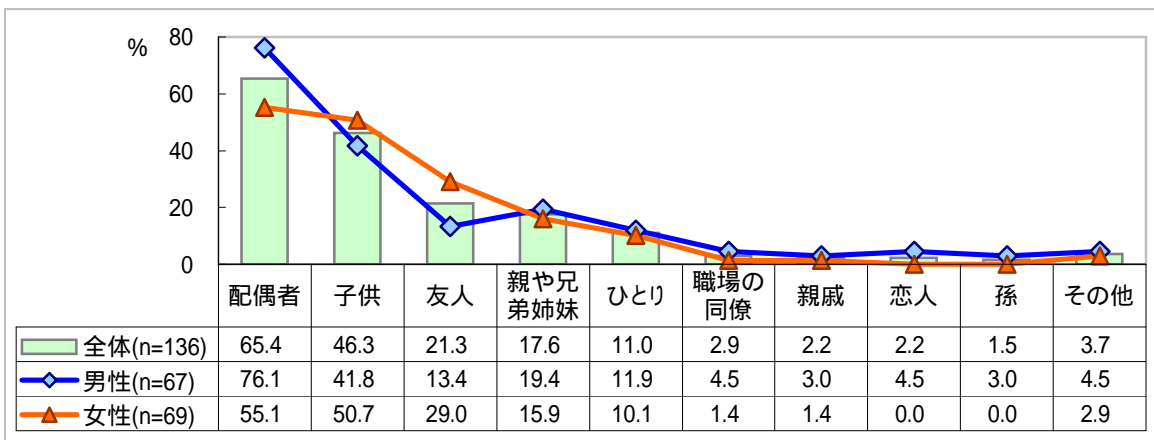
オセラ世代の宿泊旅行の同行者は「配偶者」が65.4%と最も多い。

男女別ではやや違いがみられ、男性は「配偶者」が76.1%と全体値よりも高く、「友人」が13.4%とやや低い。女性は「配偶者」55.1%と「子供」50.7%が僅差で並んでおり、「友人」も29.0%と男性よりも高い値を示している。

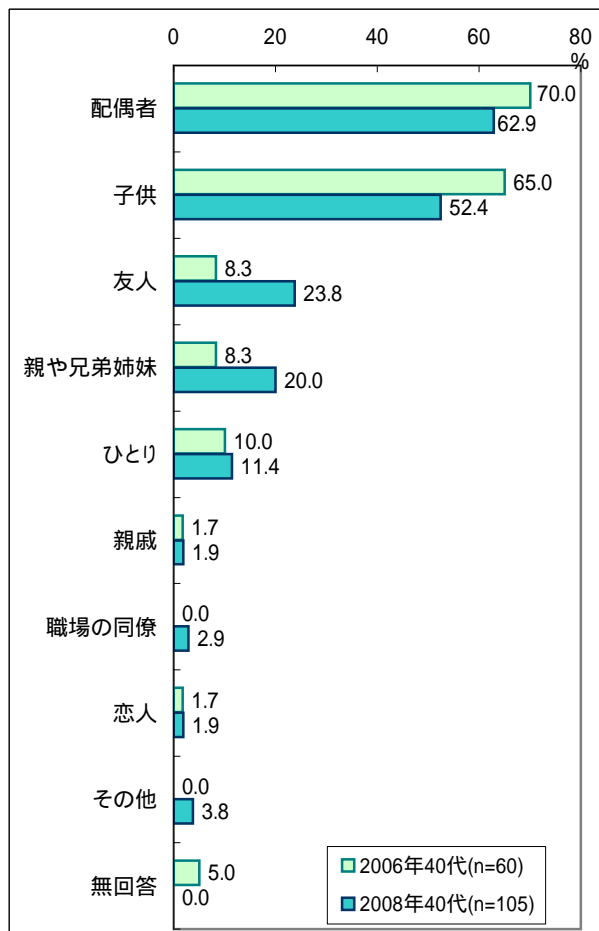
年代別に前回調査結果と比較してみると、40代は「配偶者」「子供」が減少し、「友人」や「親や兄弟姉妹」の増加が著しい。50代も同様に「配偶者」「子供」が若干減少しているが、中でも40代にはみられなかった「友人」の減少が目につく。

プライベートな宿泊旅行の同行者(複数回答)

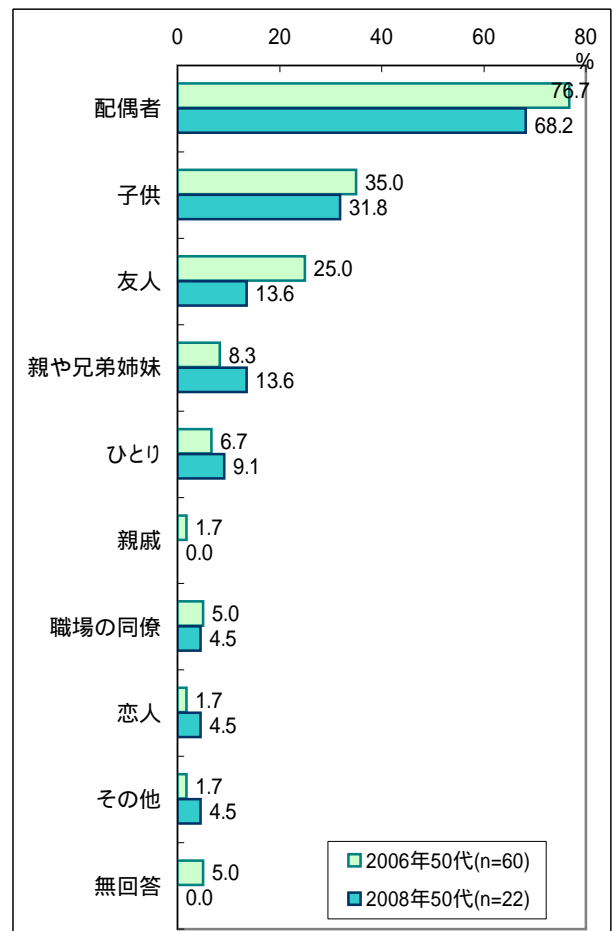
「行っていない」人を除く



40代の変化



50代の変化



移動手段

旅の移動手段は「航空便」17.6%、「自家用車」45.6%、「新幹線」26.5%。

オセラ世代が宿泊旅行で最も利用する移動手段は「自家用車」で、「レンタカー」を合わせると47.1%を占めた。次いで「新幹線」26.5%、「航空便」17.6%、「長距離バス」4.4%、「新幹線以外の鉄道」2.9%、「貸切バス」1.5%という結果となった。

男女別でみると、男性は「自家用車」の割合が過半数を超え、鉄道に関しては「新幹線」は16.4%にとどまり、「新幹線以外の鉄道」が6.0%を占めた。女性は「自家用車」と「新幹線」がほぼ同値で、「新幹線以外の鉄道」の利用は全くなかった。

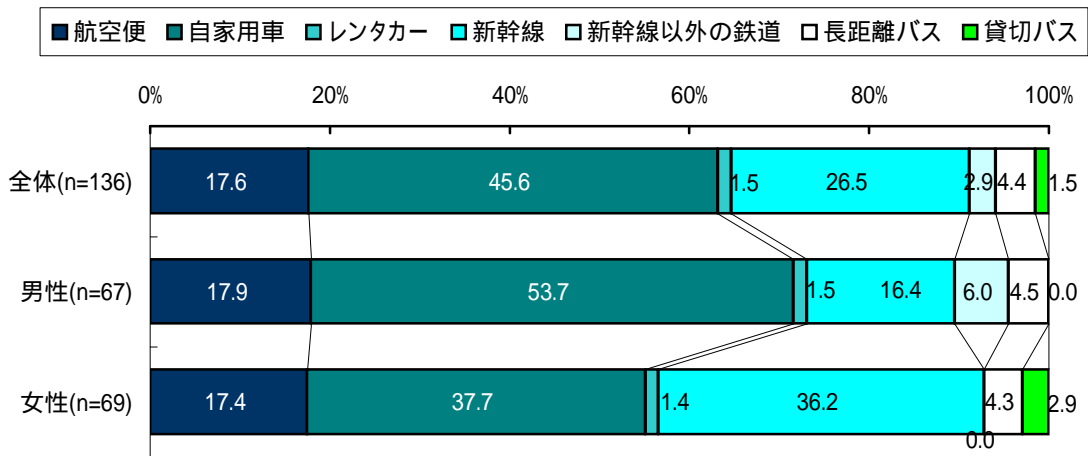
年代別でみると、40代は旅行先が中国・四国エリアが多いこともあり、「自家用車」が50.5%と過半数を占める。50代以上は「新幹線」の利用が最も多く32.3%を占め、「自家用車」と「航空便」が拮抗し、「貸切バス」の利用は全くない。50代以上の旅行先として、40代よりも値が高かったのが「東京」「沖縄」「北海道」「京都市」などの遠方であるため、「新幹線」「航空便」の利用率は必然的に高くなる。

プライベートな宿泊旅行の主な移動手段(単一回答)

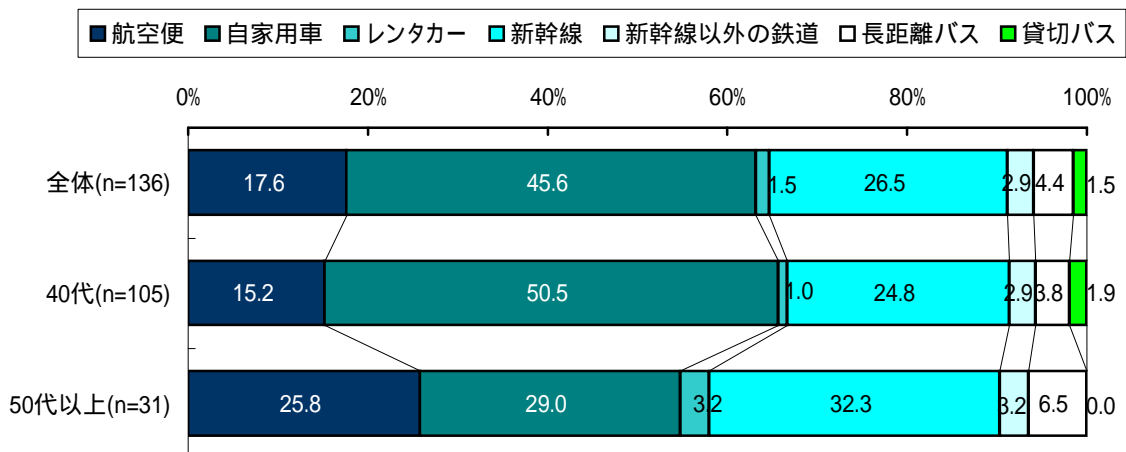
「行っていない」人を除く

「オートバイ」「船舶」「その他」といった回答はありませんでした。

【男女別】



【年代別】



情報収集先

旅の情報収集は「パソコンでのインターネット」と「旅行ガイドブック」で。

オセラ世代が旅行をする際に利用する情報源を複数回答でたずねた。

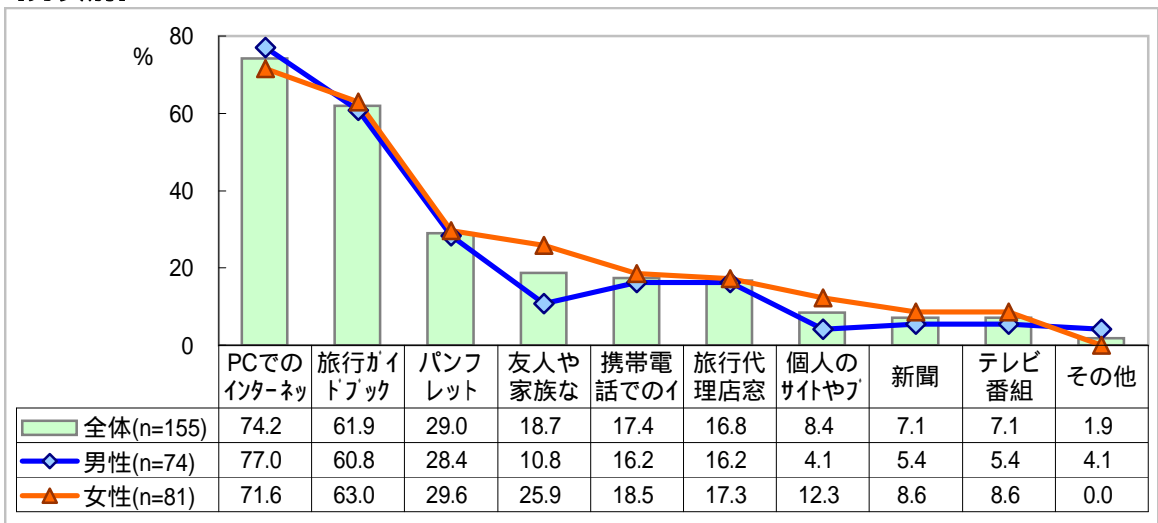
最も多かったのが「パソコンでのインターネット」で74.2%が利用していることがわかった。一方で、「携帯電話でのインターネット」は17.4%にとどまっており、オセラ世代のインターネット利用端末の特徴が表れている。パソコンと携帯電話を合わせると、「インターネット」利用は91.6%に上る。

次に多かったのは「旅行ガイドブックや旅行雑誌」で61.9%。これに「パンフレット」29.0%が続き、紙媒体も依然活用されている。

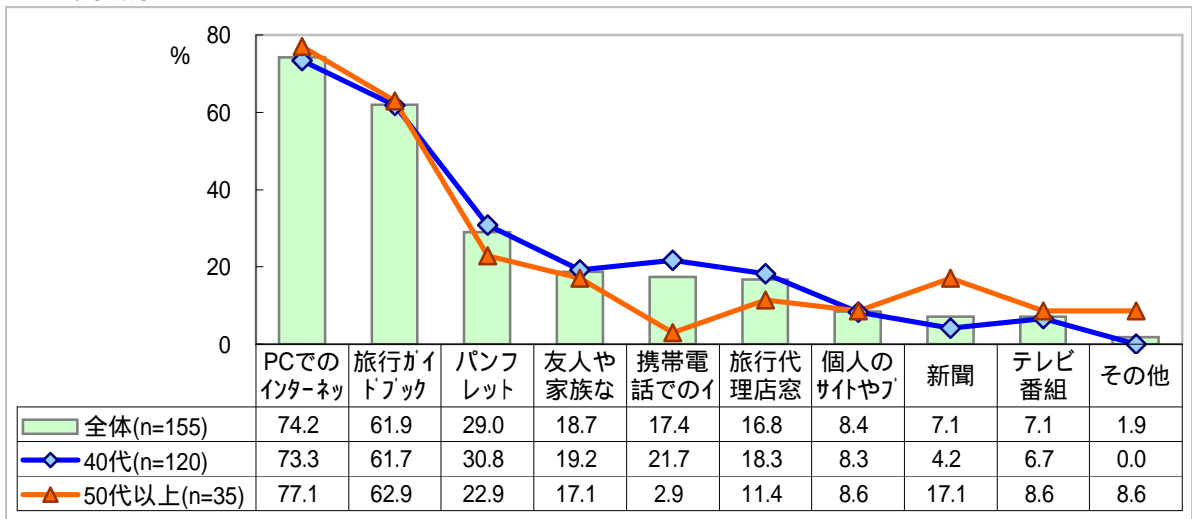
男女間の差が表れたのは、「友人や家族などの意見」と「個人のサイトやブログ」で、いずれも女性の値が高い。女性は男性よりも『口コミ』を参考にする傾向があるようだ。

年代別では、「携帯電話でのインターネット」と「新聞」で年代間の大きな差がみられた。40代の「新聞」利用は4.2%と、10項目中最も利用率が低い。50代は「携帯電話でのインターネット」利用が僅か2.9%にとどまっている。

【男女別】



【年代別】



長旅

ゆっくり旅してみたいのは「北海道」、 でも「仕事などで長期休暇がとれない」69.0%。

長旅してみたい国や都市、都道府県を自由に記入してもらった。155人中142人が記入してくれたところを見ると、長旅への興味や憧れを持った人は多そうである。

第1位は「北海道」で、男女共に圧倒的な人気を集めた。第2位は「沖縄」で、国内旅行が強い。どちらも岡山から遠隔の地にあり、観光スポットも多く、アクティビティも充実している。第3位では「イタリア」が人気を集め、第4位は「ハワイ」と、海外が並ぶ。

続いて、長旅の阻害要因を聞いてみた。「仕事などで長期休暇がとれない」が69.0%、「家計的に長期計画は難しい」が47.7%、「子供の世話や学校などの関係で」23.2%という結果となった。ただし、この上位3つの要因は年代間で大きな差があり、50代以上はいずれも全体値を大きく下回り、「子供の世話や学校などの関係で」に至ってはポイントはゼロである。

長旅が可能な「まとまった時間」の確保ができる状況にいる人は少ない。また、時間的要因が解決しても、「長旅の実態やイメージ」が「高級」である限り、経済的・心理的ハードルは下がらず、潜在的需要の顕在化は見込めない。

長旅してみたい国や都市、都道府県（自由回答）

回答の多かった国や都道府県

1	北海道	7	ヨーロッパ
2	沖縄	8	イギリス
3	イタリア	9	東京
4	ハワイ	10	ドイツ
5	東北	11	エジプト
6	フランス	12	カナダ

抜粋

水洗トイレのあるところならどこでもOK!大きな荷物を持ち歩きたくないので滞在型。まずは東京近辺。

インドとエジプトの世界遺産を旅したい。

イタリアです。ミラノ大聖堂などの中世建築めぐりをしてみたいです。

ヨーロッパ(主にオーストリア・ドイツ・フランス・イギリス)

アイルランド、イギリス、北海道、スイス

スイス ニュージーランド 宮城県 石川県 福井県 秋田県

女性 52歳 倉敷市

男性 42歳 岡山市

男性 54歳 倉敷市

女性 40歳 その他県内

男性 61歳 その他県内

男性 59歳 倉敷市

長旅の阻害要因(複数回答)

